

なかふラボ～vol.4 ナカフライの始まる場所～のアンケート結果について

平素よりお世話になっております。

中富良野町役場企画課商工観光係の対馬、なかふらの地域おこし協力隊の大水です。

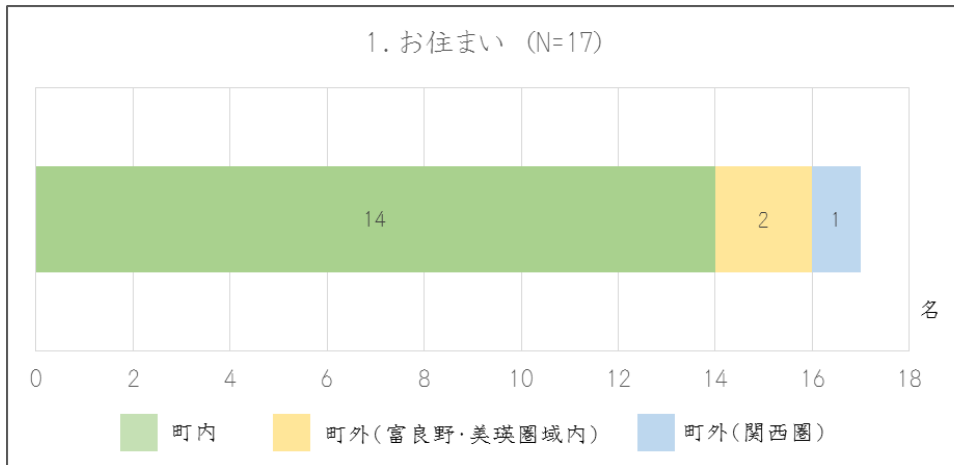
先日9月27日(木)に開催した、駅前のことを考える町民ワークショップ「なかふラボ」へご参加いただきまして、誠にありがとうございました。町内外から30名以上の方にご参加いただきました。

今まで開催してきた「KATARIBA」でのお話を踏まえつつ、「なかふらの駅前がこうだったらいいな」をみんなでお話しました。

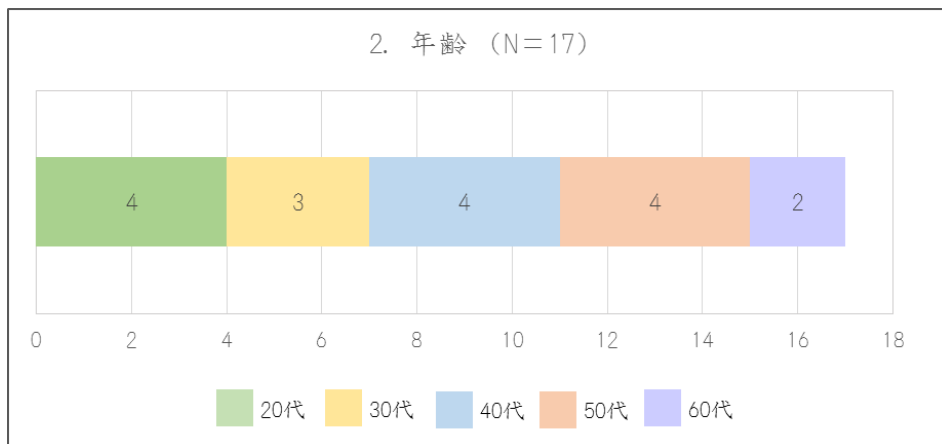
次回以降は、KATARIBA でのお話や今回のアイデアを踏まえ、さらにアイデアを深めていきたいと思っております。

今回、参加された方にアンケートのご協力をお願いしておりますので、回答をお許しいただいた方のみ、回答結果を共有いたします。

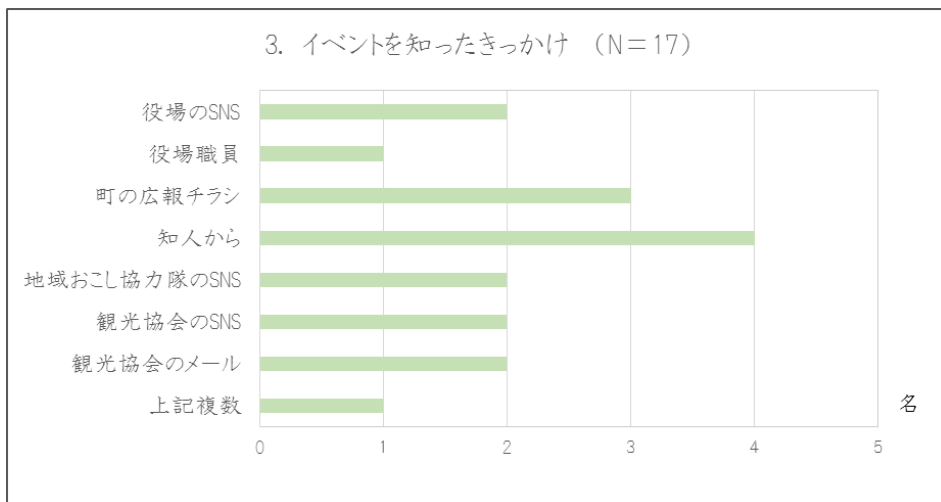
1. お住まいについて



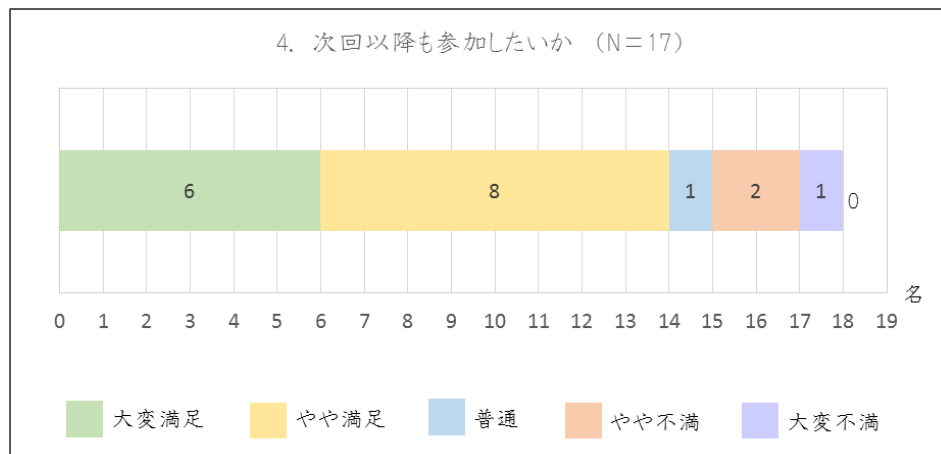
2. 年齢について



3. イベントを知ったきっかけについて



4. イベントの満足度について



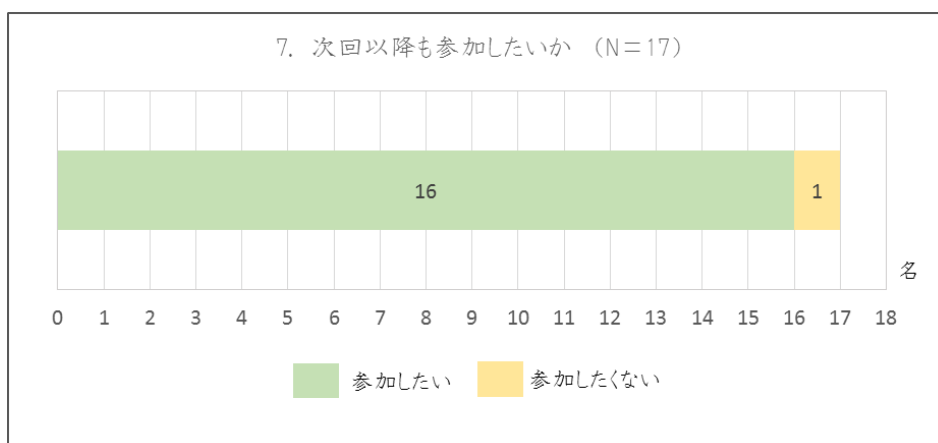
5. 上記「4」の満足度の理由について

1	いろいろな意見があって興味深い
2	町の構想についてみんなで話をすることができたから
3	グループセッションでグループ内で活発な意見交流ができた
4	なかふ駅前歴史を知れて良い機会でした。 もっと時間とって良かったかもしれません。
5	まちづくりに真剣に意見を出し合える環境が素晴らしかった。
6	富良野駅の過去の歴史など、(個人的には知っていた内容も多々あったが)町民から聞けたというのは新規移住者には役に立てたのではないかと 一方で、グループワーク内の地図が、一条通りのみで有ったことから、本当に駅前しか開発する気が無いことや、参加者が役場職員ばかりで、まるで、協会建築物の説明会に見えて残念だった。
7	説明の時間が少し長く感じたため
8	町の歴史を深く知ることができて勉強になった。雰囲気も温かくて和やかで、堅苦しくなくてとてもよかった。
9	これまでママ友達と中富良野への不満の1つになっていた「冬に遊べる場所を増やして欲しい」という話があったから
10	Zoom参加が途中からだったので、殆どの内容を把握できないままの参加となった為
11	何よりも町民皆さんの思いがしっかりと伝わり、さすが中富良野！と感じました。 「大変満足」ではなかったのは、誰に対しての駅前の活性化なのか明確にしないまま進む可能性があり、その場合結論に至らなく意見を出したのみで終わる懸案があるかとも思いました。 今回も色々な意見や提案が出ましたが、誰目線かにより発言は変わってきます。町民視点なのか、その中でも子育て視点なのか、観光客目線なのか、観光客でもインバウンド主体なのか、それにより手法が変わります。 総論で意見をまとめるのは難しく、無理にまとめても実際的な効果は薄くなり、収益が伴わず持続可能な運営に至らない懸案があると思いました。 駅前の活性化は「誰に対して」「どんな価値を提供する目的なのか」をまず定めて、そのターゲット層に合う活性化策は何か、で進めた方が今後の結論を導きやすいのではと思いました。 インバウンドなら、多言語や案内所・荷物預かりなどありますが、町民目線ならあまり関係ないこととなります。町の総合政策や推進計画、方向性や求める層をセグメントしてターゲットを絞るのもアリと思います。 また、農業や自然が豊かなのは北海道どこでもなので、中富良野ならではのここにしかない価値を入れ込めば凡そ成功に導けるのではないのでしょうか。
12	町の人の声を聞きながら進めるまちづくりが良いなと思ったため。駅周辺は町民にとって必要な場所であるため、今後もこのような駅前について考えるイベントに参加したい。
13	駅前構想に対する役場側のビジョンを示してほしかった。 目的がイマイチ感じられない。 グループワークはその度に何分までかを言ってほしかった、ワークの途中で司会が話し出し、時間なんだと気付く
14	歴史は大事だがこれまでのKATARIBAの振り返り含め長かった。過去より未来の話をするべき。 今回の構想と近い規模の道内または国内の成功・失敗事例など地に足がついた現実的な話を聞いた上で議論をしたかった。全体的にフワフワしていた。 装飾も必要ない。
15	現地で参加したら満足できたと思う

6. 「なかふラボ」への自由な感想や意見について

1	町民目線や町外から(観光客)の事を考えて両立させるのが難しいと思った。
2	また開催してほしい
3	マイクとBGMのバランスを少し取って頂ければよかったです。
4	テンポが良く飽きずに参加出来ました。
5	上富良野に在住しているがこういった議論をする場がないので、こういったイベントがある中富良野を羨ましく思いました。 場合によっては、こういったイベントを見せることで移住希望者も増えるのではないかと思います。
6	過去に産学連携で、駅前倉庫群の有効活用という、たたき台があり、年次も経過していることから、zebや、機械化倉庫設置によるなんせき倉庫活用(美瑛と組んでなんせき倉庫群の北海道遺産化)など、リベンジしてほしい。
7	皆が色々な意見を出しやすい雰囲気が良かった。
8	役場の皆さんと町民の皆さんが和やかな雰囲気です話をすることは普段ないので、とても良いイベントでした。持ち寄りでお菓子があったのが、雰囲気が和むきっかけとなったので、アイデアが素晴らしいと思いました。他のグループの方とも話せると、より良かったなと思いました！
9	なかふラボの運営、お疲れさまでした。会が終わってから、どうすればもっと人が集まるか？を考えていました。 今回は『観光』に関わってのワークショップでしたが、町民からすると『観光＝町外から来る人に向けての何か』であって、『自分達に恩恵のある何か』ではないので『自分には関係ないヒトゴト』として捉えられてしまったのかな、と思います。 そもそも私自身「観光を仕事にするわけでもないし、私自身とさほど関わりがない話題だけれど..」と消極的な気持ちで参加登録して、直前まで「関係なさそうだから行くのやめよかな..でも、託児あるからなあ..」と思っていたので。それでも、参加したのは完全に平民の町民でも何らかの形で町づくりに関わろうと思っているためで、ごく一般的な人はそこまで考えていないでしょうしハードルは高いかな、と思っています。 このことは、広告も町民が関心(かつ、おこぼれで観光客にも恩恵)のありそうな事柄を散りばめればもっと町民の関心を引くことができたのかな、と。 更には、町中の人が集まりそうな公共施設・保育園・スーパー・コンビニなど貼りまくると「あー、そいえば気になってたんだよね..」となる気がしました。 日頃、年齢問わず子持ちの友人話題になるのは「子どものために補助や助成がでるのはありがたいが、個々にお金を分散させるのではなく、公園を作ったり、未就学児が天気に関係なく遊べる屋内施設を整備したり、まとまったお金がないとできないことに使って欲しい」「確かに病気の時にお金の心配をしなくていいのは心強いけれど、病気にならないと使えない受給者証。それよりも、『心身の健康を増進する』ポジティブな目的のためのサポートの方が嬉しい」など、手厚いように思えて痒いところには手が届かない行政の支援に対する意見や苦言です。 このことは、集客がうまくできて、今回のようなファシリテーションで開催できれば、もっとたくさんの方の『町づくり』に関わる町民の声を拾うことができるということです。
10	町民と行政の交流が活発な町では、行政側のスタンスが全体的に『もっともっと町民の声を聴く』という雰囲気を感じます。町づくりのイベントに参加すると、構成や参加者の様子からも上富良野・富良野には明らかに後れを取っています。そんな中、中富良野でもようやく土壌が整って芽吹いてきたんですね！という感じのワークショップでした。 内情はよく分かりませんが、きっと色々戦うこともあるんだろうなと察します。できることをできる分だけしか協力はできませんが、これからも折れることなく、頑張りたいと思っています。
11	回を重ねる毎にハード＆ソフト共、具体的な提案や意見交換が行われていた様に感じました。今回参加出来なかった人へWSの様子を振り返りメモとして作成して頂き、同時に次回のWSに向けたテーマ(コンテンツ)を事前にお知らせ(PDF等事前送信)して頂けると次回Zoom参加であっても理解しながら進行についていける？ついて行きたいと願っています。 今回も開催お疲れ様でした。引き続きどうぞよろしくご願ひ致します。
12	中富良野に来て欲しい人と中富良野町の魅力は既に論議されているので、ターゲット層とまでは価値は既に論議されていると思います。 ターゲットとなる来て欲しい人は移住者のイメージと見受けました。3人のイメージ層は年配の定年退職者ではなく、若い方々ですよね!! 観光客が最初に訪れる接点の意味合いは意識しつつ、おそらく移住や関係人口につながる若い夫婦等クリエイターなどがターゲットとされたと思います。 その層に必要なものは何か、町ならではのどんな価値で引き寄せることができるかを議論すればと感じます。議論に必要な町民の方に絞って中身を決めていくのも良いと思います。 ならではの価値は、農業や自然の豊かさは北海道他の地域でも類似地区は多いので、差別化も考えつつ更なる深掘りをワークショップ等で行なっていくのもアリかなと思います。
13	受身のイベントでなく、発言したり手を動かす時間も多く、楽しく参加できました。
14	町民の方の参加が少ないですね。
15	全体的に内輪感が強いので私が町民だったら参加したくないなと思いました。
16	zoomだと分かりにくい場面が所々ありましたが、仕方ないかなと思います。 もっと町民がたくさん来ると良かったけど、土日開催は難しいですね

7. 次回以降の参加意向について



8. 今後のイベント内容のリクエストについて

○未来を語る会、19年開催の時に参加したいと発言しているが、既存住民の会だと断られている。閉鎖的では無いイベントなら参加したい。

○イベントではありませんが、北星山は、今後もスキー客で大賑わい！になることはないと思います。それならば、いっそのこと北側の下半分をソリ滑り・チューブ滑り場として整備してはどうでしょうか？そうすれば毎日通う家庭もあると思います。富良野のちびっこゲレンデはあまりいい話を聞かないので「閑散としているからこそちびっこに安全です！」と。イメージは旭川忠和のスタルヒン球場のような感じです。新しく作るのもいいですが、既にあるモノを現状に合うように変容させる・活用する方が簡単だと思います。

○中富良野町と同じようなテーマや、まちづくりの進め方について、専門家等を招聘して先進地事例や逆に失敗例のワークショップを行う(例えば、飛騨市)。良い点や悪い点の気づきをテーブルごとに議論・発表し、町民自らがどのような視点や議論が必要か「まちづくりのあり方の気づきや設計のヒントを得るようなワークショップ」の開催。

○どんなイベントでも毎回期待して参加していますよ。

○町民として一体感を感じられる催し。

アンケートの回答結果は、以上でございます。

貴重なご意見を誠にありがとうございました。

みなさんのご意見も参考にさせていただきつつ、今後の「なかふラボ」に活かしていきたいと思っております。

今後とも、よろしくお願いいたします。